

2025 年 2 月 7 日

一般社団法人 日本船主協会（海務部）

「海上安全セミナー」を開催

当協会は 2 月 6 日、海運クラブ 2 階ホール（オンライン併催）にて、毎年恒例のセミナーを開催し、今年度は「海上安全」をテーマとした。セミナー冒頭、主催者を代表して大谷祐介海上安全委員長（当協会理事・常任委員、飯野海運(株)代表取締役社長）が開会の挨拶を述べた後、3 名の講師が講演した。

会場には会員会社をはじめ、海事関係団体・企業や報道関係者など約 70 名が聴講したほか、オンラインで約 70 名の計 140 名近い参加があり、最新の情報提供に加え、質疑も交えた意見交換がなされた。各講演の概要は以下の通り。



大谷海上安全委員長

第 1 部：「昨今の中東地域における海上交通に対する脅威とその対処」



田中氏

田中浩一郎 氏（慶應義塾大学 教授）

田中氏からは、中東地域に係る伝統的な隘路における船舶の自由航行妨害がもたらした国家間の緊張が説明され、中東からアフリカ北部に至る海域の緊迫状況について歴史的背景を通じた詳細な分析が紹介された。そのうえで、イエメン沖の船舶攻撃はホーシー派が能動的に行動を起こしたところが、これまでの国家間の緊張による武力攻撃とは異なっており、必ずしも予想ができるものではなく、攻撃の選択肢が複数あることを理解する必要があると解説し、加えて、イラン、アメリカ、イスラエルの関係を含む最近の中東情勢の変化について詳細な分析が示された。

第 2 部：「商船への攻撃に対する航行安全の確保のための方策」

外川久人 氏（第 46 次派遣海賊対処行動水上部隊指揮官：2 等海佐）

続いて外川氏からは、護衛艦あけぼの艦長として海賊対処行動を指揮した際の経験を踏まえ、紅海・アデン湾において商船がおかれている現況や、ホーシー派による攻撃対象船舶の識別と多彩な武器による攻撃について解説した後、船上における実践的な安全航行のための方策案が紹介された。



外川氏



会場の様子

第 3 部：「電気自動車安全輸送のための考え方」

多羅尾保允 氏（日本海事協会 材料艀装部 技師）

最後に多羅尾氏からは電気自動車（EV）のリチウムイオンバッテリー（LIB）に関する火災対策として、LIB の構造、短時間で高温を発する熱暴走に至るメカニズム、併せて発生する可燃性、毒性ガスについて紹介のうえ、船上における早期発見、消火活動の注意点などの火災対策、その中で特に継続した冷却作業の必要性が強調された。出席者からは冷却媒体や、EV メーカーとの協議状況等について質問が寄せられ、出席者の関心の高さが伺われた。



多羅尾氏

以上